



# ふくちゃん新聞 しんぶん

2018.10.1 No.151-② (2年生～)

発行：生駒市図書館 生駒市辻町 238 番地 ☎0743-75-5000 <http://lib.city.ikoma.lg.jp/>

## 『 ばん ねずみのヤカちゃん 』

リチャード・ウィルバー／さく  
松岡享子／やく 大社玲子／え [福音館書店]



ドドさんの家のかべとかべのすきまに、おかあさんねずみと、四ひきの子ねずみがすんでいました。ある日、おかあさんねずみが大きくなった子ねずみたちに、自分でくらししていくためにだいじなことをいくつかおしえました。「ドドさんたちにきづかれないように、けって音をたててはいけない。」それをきいた四ひきめの子ねずみのヤカちゃんは、「うん、わかったよ、おかあさん」と、とてつもなく大きな声でいってしまうのでした。

## 『 ガリヴァー旅行記 』

スウィフト／作 中野好夫／訳  
村山知義／さし絵 [岩波書店]



船は、1699年5月4日イギリス西南部のブリストルを出帆しました。途中、ひどい暴風雨にあい、岩にぶつかった船は、木っ葉みじんにうちこわされてしまいました。わたしは、ただ、運にまかせて泳ぎながら、風と潮流におし流されていきました。やっと岸にたどり着いた時、ひどく弱っていて、この上もなくつかれていたもので、ぐっすり寝こんでしまいました。目をさましてみると、からだがうごきません。見れば、そのはず、わたしはあおむけに寝ていたのですが、手足は左右の大地にしっかりしばりつけられていました。わたしのまわりでガヤガヤさわぎ、もぞもぞうごく小さな生きものは、背が15センチメートルもない人間でした。

\_\_\_\_\_リリパット (小人国) 渡航記のほか、船医ガリヴァーがふしぎな国々で体験した奇想天外な出来事を語ります。

# おお 大きい



## 「ジャックとマメの木」

(『イギリスとアイルランドの昔話』より  
石井桃子/編・訳 J・D・バトン/画 福音館書店)



ジャックが手に入れた魔法のマメは、ひと晩で天までとどくほど高くなる、大きなマメの木になりました。マメの木を登ってたどりついたのは、でっかい人食い鬼がすむ大きな家。やがて家じゅうがゆれるような大きな足音がして、鬼が帰ってきました。

## 『富士山にのぼる』

(石川直樹/写真・作 教育画劇)



冬のある日、日本でいちばん高い富士山にのぼることにした。4時間歩きつづけてもまだ頂上にたどりつけず、テント泊。日の出前にテントをたたんで、氷と雪とはげしい風の世界へ。夏には、むきだしの溶岩が見える。富士山はいまもまだ、生きた火山なのだ。

『村は大きなパイづくり』(岩波書店)

『おおきくなりすぎたくま』(ほるぷ出版)

## 『ふしぎの国のアリス』

(ルイス・キャロル/作 生野幸吉/訳  
ジョン・テニエル/画 福音館書店)



ある日アリスは、チョッキを着た白ウサギがあわてで穴にとびこむのを見て、つづいてとびこみました。たどり着いたふしぎの国で、「わたしをお飲み」と書かれたびんのなかみを飲むと、アリスは縮んで十インチほどの背だけになってしまいました。

## 『おおきな木』

(シェル・シルヴァスタイン/作 村上春樹/訳  
あすなる書房)

おおきな木は、少年のことが大好きでした。少年も、おおきな木のことが大好きで、いつも一緒に遊んでいました。おおきな木はとても幸せでした。でも、少年が大きくなると、ほしいものがふえていって…。

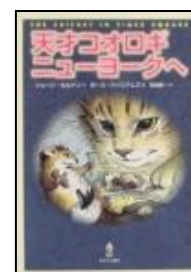


『小さなスプーンおばさん』(学研)

『だれも知らない小さな国』(講談社)

## 『天才コオロギ ニューヨークへ』

(ジョージ・セルデン/作 ガース・ウィリアムズ/絵  
吉田新一/訳 あすなる書房)



いなかからニューヨークにやって来たコオロギのチェスターは、新聞売りの少年マリオにひろわれ仲良くなります。そんなチェスターには、あるおどろきの才能が！ 1びきの小さなコオロギが、マリオの家族の危機をすくい、ニューヨーク中に感動をまきおこします。

## 「おやゆび姫」

(『アンデルセン童話集 1』より H. C. アンデルセン/作  
大畑末吉/訳・初山滋/絵 岩波書店)



魔法使いのおばあさんにもらった一つぶの大麦から美しい花がさき、そのなかかわいらしい女の子がすわっていました。その子はおやゆびほどに小さいのでおやゆび姫とよばれました。ある晩、みにくいヒキガエルが、クルミのなかで眠るおやゆび姫をさらっていきました。

ここで紹介した本は、10月6日～4月4日の間、ふくちゃん広場にありま

# ちい 小さい



10・11月のおはなし会

おおきいひとのじかん  
(しょうがく2～6ねんせい)

としよかん

じかん:3じ～3じ30ぷん

10/7(日)「三つの金曜日」ほか

10/21(日)「いばらひめ」ほか

11/4(日)「ルンペルシュティルツヘン」ほか

11/18(日)「かしこいモリー」ほか

きたぶんかん

じかん:3じ～3じ30ぷん

10/13(土)「屋根がチーズでできた家」ほか

10/27(土)「カエルの王さま」ほか

11/10(土)「犬と猫とうろこ玉」ほか

11/24(土)「森の家」ほか

みなみぶんかん

じかん:3じ～3じ30ぷん

10/27(土)「七羽のカラス」ほか

11/24(土)「十二のつきのおくりもの」ほか

いこまえきまえ としよしつ

じかん:3じ～3じ30ぷん

10/27(土)「水晶の小箱」ほか

11/24(土)「ネコの家に行った女の子」ほか

しかのだい ふれあいほーる としよしつ


じかん:3じ～3じ30ぷん

10/13(土)「雌牛のブーコーラ」ほか

10/27(土)「マメ子と魔物」ほか

11/10(土)「三まいのお札」ほか

11/24(土)「赤ずきん」ほか



西村早苗 (にしむら さなえ) です。  
生駒市図書館 (本館) にいます。

- 好きな本  
『農場の少年』 (ローラ・インガルス・ワイルダー/作  
恩地三保子/訳 福音館書店)
- 趣味 旅行。空想すること。
- みなさんにひとこと  
いっぱい本を読んで、いっぱい紹介していけたらと思います。  
みなさんが素敵な本と出会うお手伝いができますように!

はじめまして!

かしたし ひとり  
貸出が一人12さつ  
までにふえます

10月2日(火)から、貸出できる本を  
一人2週間で5さつから  
2週間で12さつにふやします。

■□■□■□■ 2018年10月～2019年3月のおやすみ ■□■□■□■  
毎週月曜日、館内整理日(10/5、11/2、12/7、2/1、3/1)、  
年末年始(12/28～1/4)、特別整理期間(2/18～2/25)

☆祝日は全館開館(9:30～17:00)します  
10/8(月)、11/3(土)、11/23(金)、12/23(日)、1/14(月)、2/11(月)、3/21(木)

